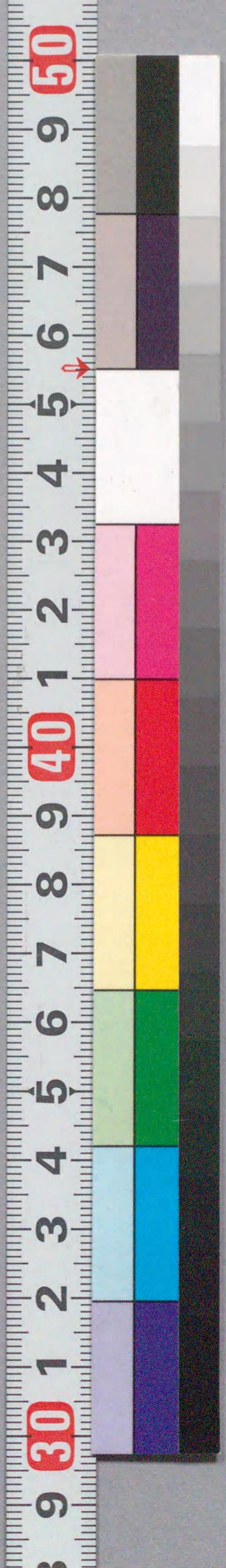


忠臣蔵十二段目

207
121





忠臣蔵
十二段目

五段目
開巻

207
121

五段目







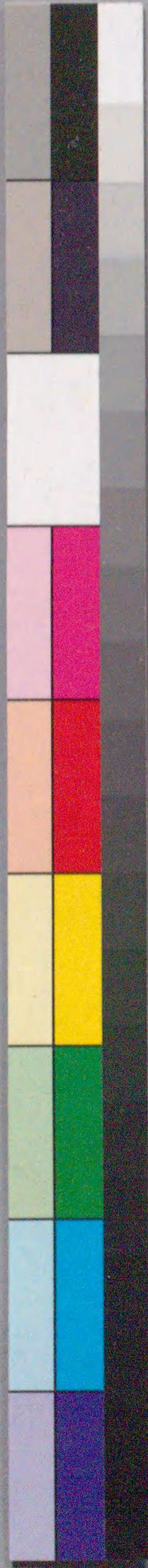


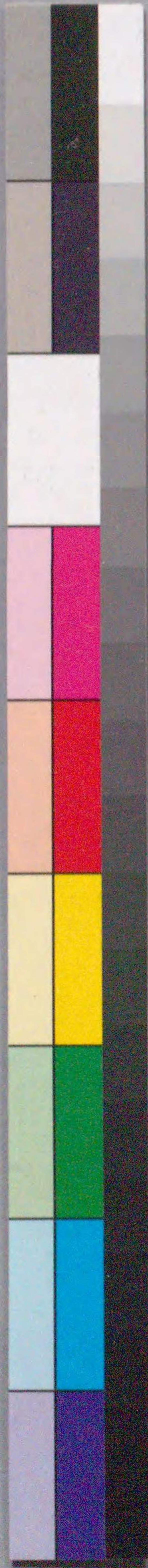
めふ
 うりゆ
 これうき
 マとあつ
 うらわぶ
 らとと
 れ三人ふ
 ちりえ
 あれで
 りをい
 あくあ
 よい
 とて
 とんごよ
 ミせいの
 あり
 おま
 おあ
 ーあみ
 由あいら
 とらちを
 おあ
 あられ

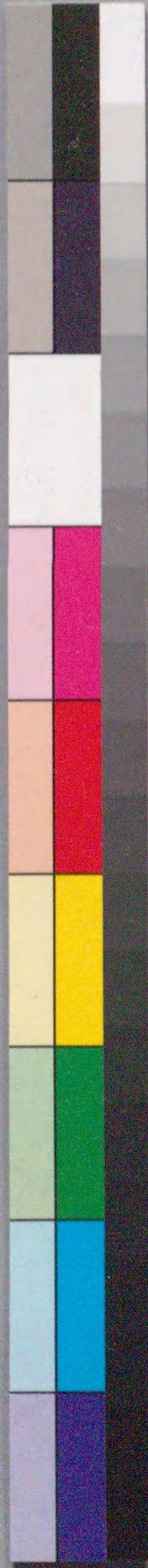


およの女
 ちんとい
 どもそれより久あのかちまが
 つま大聖をドめは十七人のみ
 がうとまてあつとのいどうせ
 々の人はとのあひのいふく
 ましちてせうれ定九ふ考
 ののとあひあがうとま
 ちがうて
 ころさう
 いらくせう
 ぞうせん九あまとのあんの下で
 あわるゆぬさうねうこのさひん
 とらんのあつとさうさつ作
 が大とありぞあしてもちくせう
 むんがありあまからうの大聖
 のゆれとまてより大らひあ
 ずんのさゆねんさうさうい
 せんとゆあなれはさうい
 さぞあくうらうそれあま
 りるさうちくどののう
 たりくさうさうさう
 ころかりでもいひようあ



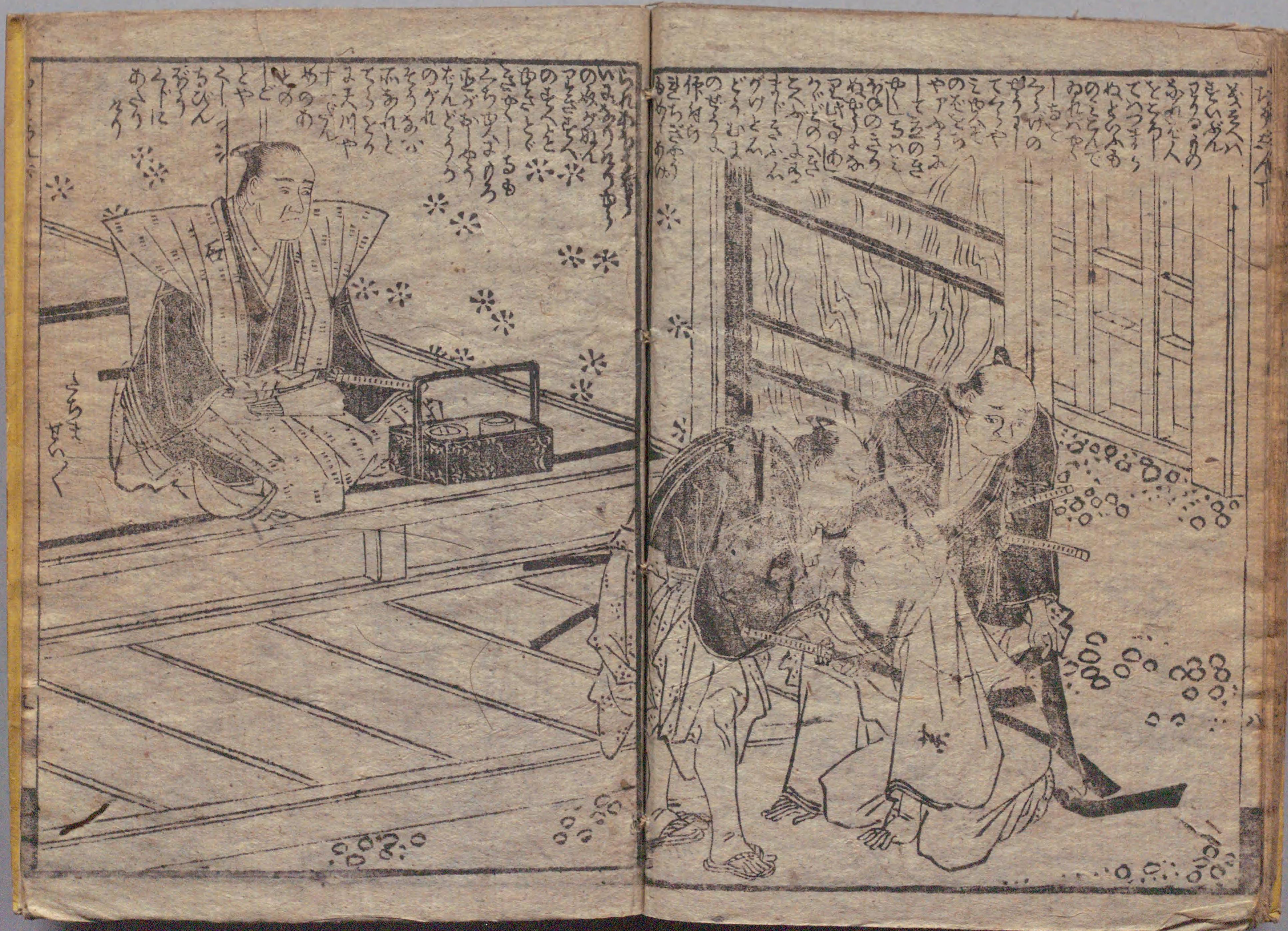














207
121

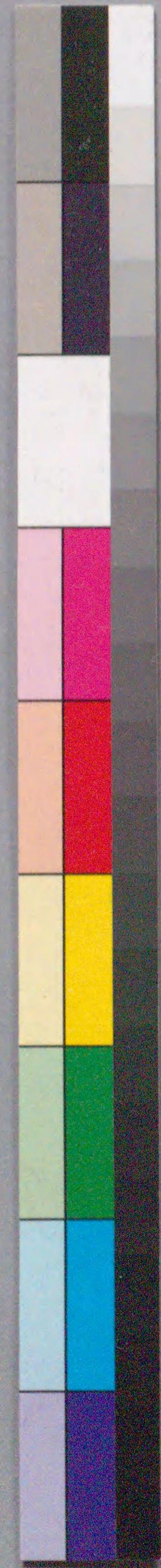


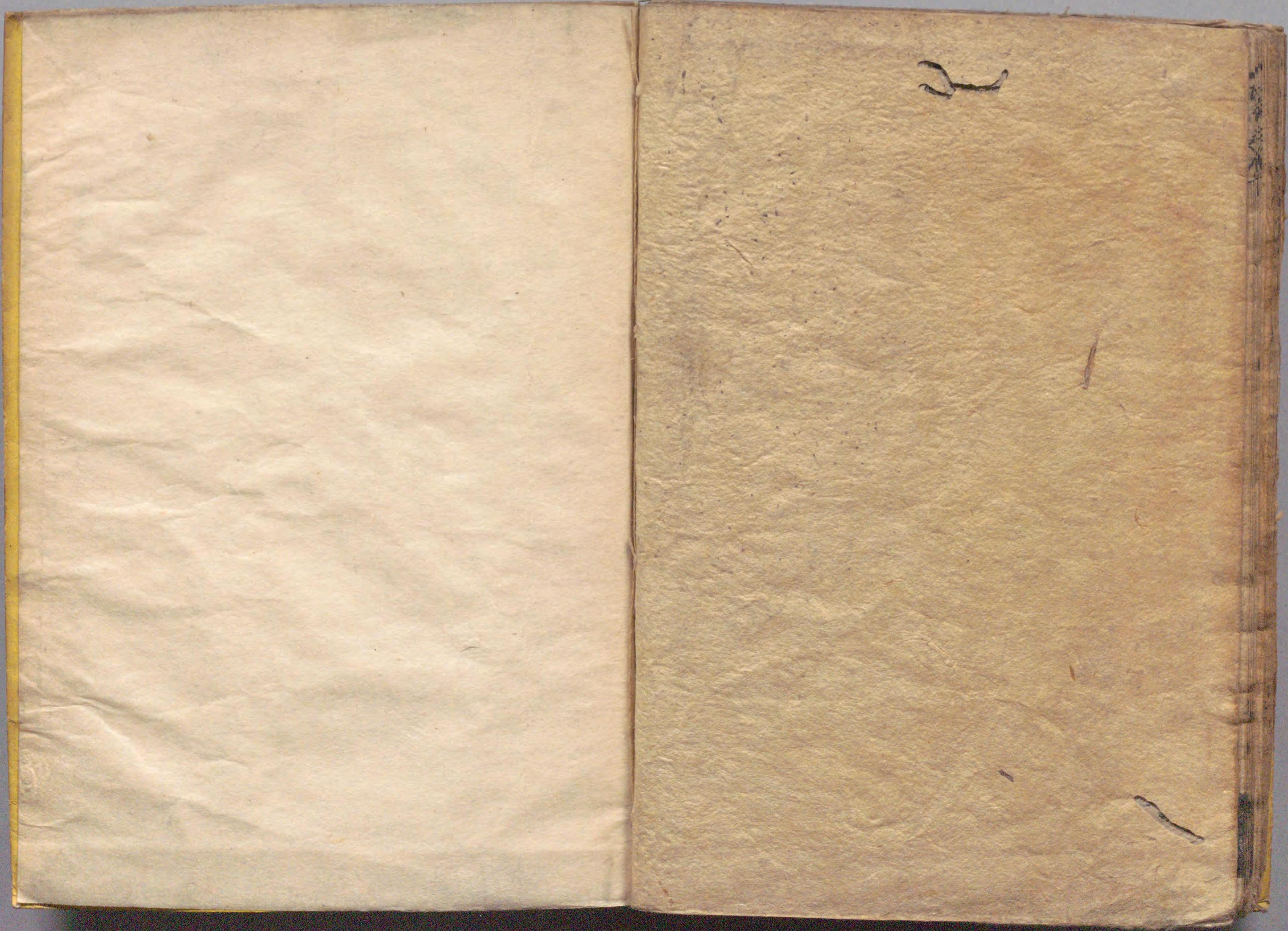
春英画

通笑作

とうとう来るあさる
 ぬきまうりゆりしやう
 あんといまはあちやう
 ぶらしてあまうさる
 余もまをさうとゆい
 人とのやまをさう
 いちりいりあうさ
 ぬめーあれともこえん
 よつ
 せえんがーがまやう
 かんてい十七人の
 かのと一まあうつ天
 川やのていしゆいれ
 せかんとせんといまの
 平一人一代まはま
 つまらち
 るまあちせん
 よつりてあちら
 のあどのせん
 さんていあち夫
 さんていあち夫
 かりんあちま
 りんていあちま
 とりんていあちま
 ことあり







国立国会図書館 忠臣蔵十二段目：2巻 207-121

ガラス使用



国立国会図書館 忠臣蔵十二段目：2巻 207-121

ガラス使用

